

大会に寄せて

「第 11 回国際健康健美長寿フォーラム・博覧会兼第 2 回世界大健康運動会」が神戸で華々しく挙行されるのに際し、私は日本の元総理大臣そして中国の皆様の友人として、心よりお祝い申し上げます。

近年、私は中国の健康産業の発展に大いに注目すると同時に、中国の地方自治体、機関、企業家が積極的に日本の健康産業の経験を学ばれているのを積極的にお手伝いしています。今後も微力ではありますが、私もこの分野で貢献していきたいと思っています。

安倍晋三首相は「人生百年」という構想を打ち出し、習近平国家主席は「健康中国」建設の目標を掲げています。日中両国は共通の社会問題に対し、言葉上の表現だけではなく現実に追求する同じ目標を打ち出しました。これは将来の日中関係の協力、交流における新しい合致点、成長ポイントとなるでしょう。日中関係は近年、挫折と困難に満ちた背景のもとにありますので、両国間にこのような戦略的共同関係と戦略的互惠が生まれることを大変うれしく思います。日中関係の新しい一章もここから始まると言えるでしょう。

率直に申し上げて、戦後の日本は経済成長の分野はもちろん、高齢化社会に突入したことで、中国に一步先んじています。しかし、これは決して日本が自慢できることではありません。逆に言うと、日本がこの分野で得た経験と教訓は、中国にとってプラスとマイナス両面の教科書となり得ます。私はよく中国の方たちが発展の道路上では「コーナーで抜き去らなければならない」と言うのを耳にします。この中にはある種の精神と信念がありますが、さらに謙虚さと努力が必要です。耳の痛い話かもしれませんが、中国は環境保護の分野では日本が失敗した道を歩んでいます。幸いなことに習近平国家主席の就任以来、発展の方向には新たに調整が加えられ、中国の経済と社会を新しい局面へと向かわせました。私は中国が健康、介護などの分野で日本の陥った隘路に入り込んでほしくないのです。これも私が近年積極的に中国の地方自治体、機関、企業などをサポートしている大きな理由です。

非常に光栄なことに、習近平国家主席は何度も貴重な時間を割いて私と会ってくださり、内容の深い話しをさせていただいております。習近平国家主席は水泳やサッカーなどのスポーツがお好きですので、中国人民の健康事業は未だかつてないほど注目され、推進されています。私も習近平国家主席とともに、

この偉大な事業を進めたいと思います。

2019年6月、習近平国家主席はボアオ・アジア・フォーラムのグローバル健康フォーラムへの書簡での祝辞の中で、「皆さんとともに各方面のパワーとコンセンサスを凝集し、交流し学び合い、世界の健康事業と健康産業の発展を推進し、保健衛生・健康の分野での国際協力を促進し、全人類の健康福祉に貢献することを希望する」と述べています。これに私も深く賛同いたします。日中両国はこの分野で手を携えて尽力し、それぞれの国家の利益のためだけでなく、アジアそして全世界に貢献すべきです。

最後に、全日本華人連合会の八山元（張永祥）会長の「第11回国際健康健美長寿フォーラム・博覧会兼第2回世界大健康運動会」神戸開催に対する多大な尽力に感謝申し上げます。この大会の成功を心よりお祈りしております。

第93代内閣総理大臣

鳩山由紀夫

2019年9月 於東京

■1369字